



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

長谷川眞理子博士

(総合研究大学院大学・教授)

「加齢と寿命の進化、 そしてヒトの特殊性」

2010年10月28日(木) 16時30分-17時30分
加齢研・実験研究棟・セミナー室(1)

長谷川 眞理子博士は、日本を代表する人類学者・進化学者の御一人であり現在は、総合研究大学院大学教授・先導科学研究科生命共生体進化学専攻長の職にあります。日曜夜のNHK人気番組、「ダーウィンが来た」の内容を、時に監修されていることから、市民にも知名度の高い研究者ですが、専門は総合人類学、行動生態学、進化心理学であります。性にまつわる問題(性選択)への関心から、動物を用いた研究を出発点にしましたが、最近はより広く、進化生物学の観点から人間の行動性向を理解しようとする、進化心理学に興味をお持ちで、その方面の論文・著書を多く発表されております。今回の東北大・GCOE 訪問に際しましては、私達にFAMILIAR である加齢・寿命の分析的・分子論的な研究とは一味違う観点、即ち進化学・人類学から見た、ヒトの本質について講演されます。

講演要旨

なぜ加齢が起こるのか、なぜ決まった長さの寿命が進化するのかは、進化生物学の大きな疑問の一つであり、これまでの多くの研究がなされてきた。加齢と寿命そのものの進化については、繁殖期に有利な形質をもたらすが、それ以後は不利な性質をもたらす遺伝子が選択されることの副産物として理解されることを示したジョージ・ウィリアムズの研究などが先駆けである。その後、加齢の研究は、生物の一生の時間とエネルギーをどう配分するか戦略という意味で、生活史戦略の進化という分野で研究が進められている。本講演では、進化生物学からの加齢の研究を紹介したあと、ヒトという生物の生活史戦略の特殊性について論じてみたい。

参考文献

1. 『ヒトはなぜ病気になるのか』 (ウェッジ、2007年)
2. 『動物の生存戦略—行動から探る生き物の不思議』 (左右社、2009年)

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 佐竹 正延(加齢研・免疫遺伝子制御研究分野・内線8481)